

お元気ですか

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523

です



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

条例
提案

75歳以上高齢者の 入院時の経済的負担軽減

75歳以上の高齢者が入院した際の経済的負担を解消するための条例を提案しました。4回目です。しかし、自民・公明・民主は一言の発言もしないまま反対してつぶしました。こんな議会のあり様でいいのでしょうか。

入院中の医療費や諸費用に對して月1万円限度に支給

高齢になるとどこかしら身体具合が悪くなります。医療費の負担が重くなるので、負担軽減は切実な願いです。

日本共産党区議団は、『高齢者医療入院時負担軽減支援金』条例(案)提案を4回目ですが、今定例会で行い、2月28日の厚生委員会で審議しました。

あらためて内容を紹介しますと、75歳以上の高齢者が入院したときにかかる医療費・文書料・日用品費などに月1万円を限度に支援金を支給。所得制限はありません。

財源は十分にあります

実施時期は今年の4月1日からですが、予算額は2億3000万円です。区の財政状況をみると十分に対応できます。なぜなら、今年度末には

財政調整基金に4億3000万円も積み増す予定になっており、その他の基金(使途目的が明確になっている基金)にも積み増しをします。

他党は一言の発言もなく「反対」し切り捨てる

今回の提案に対して他党は一言の発言もなく反対しました。議員なら、反対する理由を言うべきです。

各党派の述べた内容を紹介します。

自民党「昨年6月の委員会で質問し態度を表明した。今回も同じ結論で不採択とすることを望む。」

公明党「前から変わったのは条例施行の日付け。財源の説明ない、手当てを受けたら税制上の扱いはどうなるかの話がない。選挙前に出しただけとしか思えないので賛成しかねる。」

民主品川「賛成しかねる」

特養ホーム・老健施設・グループホーム建設は区民の切実な願い

同趣旨の請願2件を採択

厚生委員会では特養ホームなどの建設を求める2種類の請願を審査しました。日本共産党は今回も賛成、他党も賛成しましたが、広範な区民が切実に求めている要望だということがあらためて明らかになりました。

区議会のおかしさⅠ

区民の請願に一言の発言もしない自公民

今議会にも特養ホームや老健施設などの増設を求める請願が2件出されました。共産党も参加している「医療と福祉を良くする会」が提出した請願と、個人名での請願です。二つの請願趣旨は同じ内容ですから、区民の願いが大きく広がっていることの反映だと思えます。

区民の願いが切実だから議事に提出したのに、託された議会側が共産党の議員を除いて発言しないまま決めようとしたのです。提出した区民に対して失礼ではないかと思えます。しかも、個人名で提出された請願には自公民が紹介議員になっただけです。少

なくとも賛成する理由を述べて区に対してしっかりと約束させるのが与党の責任です。発言したのは、南と副委員長

の中塚議員だけでした。議員としての責任を負わない議会になってるので残念です。

区議会のおかしさⅡ

公明党の主張

発言もなく請願に対する結論を出すことになりましたが、自公民は、個人名での請願には採択を主張し、「医療と福祉を良くする会」の請願には趣旨採択を主張。南は「請願趣旨がほとんど同じ内容なのに、なぜ、態度を違えるのか」と各議員に問いかけ、格差をつけるべきではないと主張しました。

すると、公明党の議員が「一日も早く」と書いてある

から採択にすると計画が10年も先になったら共産党が金科玉条のようにあの時採択されただけではないかと言ってくる。

一日もという数字を出されると私どもの責任になるーと、いつて趣旨採択の理由にしました。

「一日も早く」は切実な願いの表現ではないでしょうか。

ここにも、なかなか増設計画をつくらうとしない区をかばい続けている公明党の姿勢が現れています。

特養ホーム待機者の解消策なし

区の説明も酷い内容でした。「入所希望者は昨年8月で595人。中には要介護1・2の方がいるし、軽度の方、病院とか老健施設、その他の施設に入っている方は595人中350人くらいいる。本当に介護に困っているのかどうかは分析しないとわからない。

生活・雇用・子どもだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)152